



KAGOSHIMA

鹿児島県

母子会だより



この広報誌は赤い羽根
共同募金の助成を受け
て発行しています。

令和5年9月5日(火)
創立70周年記念
鹿児島県母子寡婦
福祉研修大会
アトラクション
「薩摩川内おどり太鼓」



令和5年10月29日(日)
母子寡婦父子家庭
大運動会



令和5年9月5日(火)
創立70周年記念
鹿児島県母子寡婦
福祉研修大会
講師:さつま狂句選者
小森 寿星 氏



屋久島 縄文杉

屋久島は、1993年12月に世界
自然遺産登録されました。

108号

発行所 社会福祉法人 鹿児島県母子寡婦福祉連合会(鹿児島県社会福祉センター内)
鹿児島市鴨池新町1番7号 電話099-258-2984 FAX099-296-8123
URL <http://www.kaboren.jp/> E-mail kken-bosikai@orion.ocn.ne.jp

発行人 久保 郁子

令和6年1月31日発行

ごあいさつ

鹿児島県母子寡婦福祉連合会
理事長 久保 郁子



新年明けましておめでとう
ございます。

まず、元旦に発生しました
「能登半島地震」により被災
されました多くの皆様に、心
よりお見舞い申し上げます。

さて、昨年、当連合会は創
立七十周年を迎え、鹿児島県
母子寡婦福祉研修大会を成功
裏に開催することができました
た。これも諸先輩方のたゆま
ぬ努力と熱意、会員の皆様の
ご協力のおかげと深く感謝し
ております。また、これまで
多くのご助言ご指導をいただ
きました各関係機関の皆様
に心から厚く御礼申し上げます。
この十月には第五十回母
子寡婦父子家庭大運動会も盛
大に開催でき、十一月には全
国母子寡婦福祉研修大会が長
崎県で開催され鹿児島県から

も四十三名が参加できたこと
に喜びを感じております。

地域社会においては、急速
に進む少子高齢化や人口減
少、国際情勢の変化等による
物価高騰、格差の拡大などひ
とより親家庭を取り巻く環境は
ますます厳しい状況が続いて
おります。ひとり親家庭は、
子育てと生計の維持をひとり
で担っていることから様々な
困難を伴っています。このよ
うなひとり親家庭や寡婦が自
立に向けて取り組むための支
援として「子育て・生活支援
策」「就業支援策」「養育費の
確保」「経済的支援策」など
の制度が強化されています。
今後ますます会員の皆様との
つながりを大事にし、共に支
えあい、母子と寡婦ともに協
力していきたいと思えます。
最後に、この一年が皆様に
とりまして、希望にあふれる
素晴らしい年となりますよう
に心からお祈り申し上げます。



創立70周年記念 鹿児島県母子寡婦 福祉研修大会

令和5年9月5日(火)
「つながり人の輪、
守ろう地域の輪」

場 所：鹿児島市民文化ホール
(第二)

未来を担う子ども達の貧困
の解消やひとり親家庭及び寡
婦の福祉を目指して研修討議
を行い、更なる充実強化を図
ることを目的として、この大
会が開催されました。

講 師 さつま狂句選者

演 題 小森 寿星 氏
「さつま狂句あれこ
れ」

アトラクション

薩摩川内おどり太鼓

表彰者

特別功労賞

岡田 榮子 氏

南郷 ヒロ子 氏

中園 学 氏

井上 律子 氏

岩元 ミチ子 氏

小川 ツルエ 氏

川原 ヒサエ 氏

大平 敏子 氏

島元 美代子 氏

感謝状

表彰状



創立70周年記念挨拶

川薩地区 奥園 和子



樋脇支部は昭和二十七年に
発足し、その長い歴史の中に
それぞれの人達との人生があ
りました。「出合ひより別れ
が多しと人の言ふ我もさそう
い歳になりたり」母子会と共
にもう五十年、沢山の思い出
が走馬燈のように浮かびま
す。全国大会・九州大会・県
大会・地区大会それぞれの伝
統を伝え来て今年、県大会
が川薩地区担当でした。各支
部の会長さんとの話しあいに

それぞれに寄り添って、理事
長を始め事務局の方々にもお
世話になりました。国会議員
を始め県議の方々にご参加い
ただき嬉しく思いました。若
い時はそっとしてほしい時も
ありました。今では堂々と
胸をはって「母子会の奥園で
す。」と知事や議長さん方に
挨拶することでした。人間か
われるもので、何事にも一生
懸命頑張れば誰かが見ている
ものです。私は娘を色々な大
会に連れていきますが、何事
も手伝ってくれます。

ある市議の方が「お母さん
の背中をみてるんだね」と
少し誉めてもらいました。先
輩方の長い歴史の七十周年記
念、我が地区の支部の会長さ
ん達との思いはことのほか、
大切になっています。世の中の
流れに添いつつ残された余生
の時間を大切に過ごしたいと
思います。



記念講演

講師 小森 寿星 氏

NHKの番組「さつま狂句」選者である小森寿星さんは、「さつま狂句あれこれ」の演題にて、さつま狂句の作り方や楽しみ方を軽妙な語り口でわかりやすくにこやかにお話されました。特に夏井いづきさんとの共演の様子ややりとりなどは、会場の参加者も興味津々の様子で聴いていました。高齢の会員が多い中、今後の生きがいづくりに、ほけ防止に「狂句づくり」に挑戦してみようという力強い後押しをしてくれる講演でした。

薩摩川内おどり太鼓の
アトラクション

国内・国外の公演活動で活躍している薩摩川内おどり太鼓とおどりを融合させ、見るもあざやかな姿で力強く太鼓をたたき、しなやかにおどり、見応えのある発表でした。発表の終わりには、会場と一体となって盛り上げ、舞台では飛び入りも出るほどの盛会となり、元氣と意欲を起こさせるアトラクションでした。

表彰者挨拶

出水支部 岡田 榮子

私が母子会に入会した時は、多くの方が戦争未亡人の方でした。主人は、一夜にして二人の子どもを残し亡くなりました。くも膜下出血でした。主人四十七才、私は四十二才で長男は就職し、次男は高校生でした。知人に誘われ母子会に入会した時、役員選挙とは知らず、皆さん私の名前を書いて帰宅されました。何事かと思つたら校区会長の選挙でした。当時私は、農協婦人部の副をしており忙しい日々でした。また、みかんを植えたばかりで収入もなく一町五反の手入れに頑張りました。当時は会員の名簿もなく、県母連理事にもなり、物品を売り歩き仕事も増えてゆきました。呉服の展示、健康食品の注文に署名活動と多くの行事があり、元理事長の黒武者さんと共に頑張ってきました。振り返れば楽しい思い出です。母子会入会から四十六年。今日、賞もいただき、今後も活動を続けるつもりでございます。良き八十八才の祝いとなり皆様方に感謝申し上げます。

母子寡婦会の役員として、
二十二年を顧みて

牧園支部 南郷 ヒロ子

平成二年夏に夫が他界して、平成九年から母子会の会員となり何もわからぬまま十一年には副会長、十三年には会長にと推薦され歳月を重ねてきました。その時、私は六十二才。色々考えた末六十の手習いだと心を持ち直し先輩方の指示を受け、会員と共に母子会活動を続けてきました。平成十四・十五年に新一年生に県よりお祝いとして記念品のランドセルが配布され、父子・母子家庭へ配布いたしました。子ども四人の家庭へ訪問した時、上のお兄ちゃんが「僕は十八才になったら家を出るので、また来てね」と後ろ髪を引かれる思いで帰った事もありました。今思えば、楽しい事や嬉しい事など色々と思ひ出されます。県大会の五十回・六十回記念と私も携わってきました。七十周年記念大会、理事長をはじめ担当地区の皆様大変に頭がさがります。また、今回特別功労賞をいただき申し訳なく思います。これも会員と共にいただいた表彰だと感

謝しております。ありがとうございました。

表彰を受けて人生をふり返る

中園商事 中園 学

鹿児島県母子寡婦福祉連合会創立七十周年の節目の折に、中園商事 中園学が、特別功労賞を賜りありがとうございました。これまで母子寡婦会の皆様方と一緒に頑張ってきたことが間違いなかった。と思ひ感謝しております。

振りかえれば、妻が鹿児島ということもあり、昭和六十一年都城市で起業しました。商品(防虫剤ナフタリン)を、鹿児島県、宮崎県、長崎県の市町村の母子寡婦会を回り販売の依頼をしました。利益の一部を本会に還元する、ボランティア活動を兼ねた仕事です。何でも一から始めることは大変です。心の中で「人生、真面目に正しく生きればきっと良くなる」と信じて一生懸命頑張りました。それから三十八年、古希を過ぎて子ども三人孫七人に恵まれました。苦勞すれば必ず報われます。本会は、戦争未亡人の方々が母体となっております。この素晴らしい会員様方との出会い、学

び活動して、私の現在があると感じています。今は何でも手に入る時代です。世界では戦争で苦しんでいる人がいます。この矛盾をどう理解したら良いのでしょうか。何事もひと時も無駄にしない、大切に時を過ごす事が出来ればと思います。人の交流を明るく楽しく前向きに頑張ります。私もまだお役に立てるようです。これからも鹿児島県母子寡婦福祉連合会が益々発展することを祈念します。



家庭大運動会♪

特別全国障害者スポーツ大会と日程が重なり参加出来ない支部もございましたが、会員・ボランティアの皆様のご協力のもと開催できました。



スタート

「私の中のメイン」

鹿児島支部 今福美羽

私は、母の手伝いで朝早くから鹿児島支部の受付をしました。八十人ほどの受付はとても大変で、友達に手伝ってもらい助かりました。私は、今回の運動会でたくさんさんの競技に出場しました。特に印象に残っている競技は、仮装行列で、今年の仮装行列はこれまでで、一番すごいと思います。ランドセルにスピーカーをつけたり、お神輿を作ったり衣装を作る母達はすごいと思います。今後の仮装も楽しみです。私の中で運動会のメインは仮装行列になります。



曾於地区

「大運動会」

鹿児島支部 佐藤春希

今回が初めての大会に参加しました。たくさんの方が参加していると聞いていて、ドキドキしていたけど、初めて会う人もみんな優しくしてくれてうれしかったです。競技ではお菓子を取れなくて、順位が下がってしまいました。悔しかったけど、最後のリレーで二位になれたのでうれしかったです。一番うれしかったのは鹿児島支部が優勝できたことです。来年も頑張って優勝したいです。



肝属地区

鹿児島支部 佐藤陽菜

初めて参加しました。不安



鹿児島地区

でしたが、皆優しく年長の近い子もいて安心できました、楽しかったです。鹿児島支部の参加者が多い事に驚き、運動会のために早くから来て準備する事に大変だなど！競技も皆楽しそうに参加していて、うれしくなりました。今回初優勝できてうれしかったですし、頑張った良かったと思えました。

もう、60才さん

今年、九十才になりました。何も出来ないけど、参加するだけでも楽しかったです。来年も元気にこれると良いなあ



南薩地区

匿名希望さん
懐かしい方との出会いもあり、楽しい一日でした。運動会は毎年の楽しみです。



玉入れ

第50回

母子寡婦父子

期日：令和5年10月29日（日）参加者：400人

会場：鹿児島国際大学フィールドハウス（体育館）



皆で準備体操



準備体操



日置地区



川薩地区



出水地区



始良地区

「ほし・かふかいのうんどう会にさんかして」
 曾於支部 たなかゆうか
 十月二十九日のほしかふかいのうんどう会にさんかして、せんしゅせんせいをしました。とてもさんちようしました。なぜかと言うと、わたしのほうだけにマイクがむけられていたからです。でも、がんばって言い切りました。せんしゅせんせいがおわるとたくさんのおぎがはじまりました。かけっこ、でかぱりリレー、玉入れ、リレー、わたしはリレーに出ました。その中でもリレーがたのしかったです。こんかい小学校ではじめてリレーをしたから

です。バトンをうまくうけとれませんでした。いっしょうけんめいにはしり切り、つぎの人にバトンをわたすことができませんでした。ゆうしようはできませんでした。はじめのけいけんもすることができて楽しかったです。
 うえちゃん
 応援合戦がとても良かったです。次回は自分の支部も声掛けをして、若い人達にも参加してもらいたいです。
 はらぼう
 プログラムに母子会の歌のっているのに、式の時に持って行けなかったのは反省

点ではないでしょうか？もっと工夫してみてもどうですか？
 バナナ娘
 お弁当はおかずの野菜類もご飯の量も少なかった、次回はもっと考えて欲しい。
 上床さん
 みんなで仮装行列に参加できて、帰りのバスの中では、全員で童謡を歌って帰りとても盛り上がりました。



パンツDEデートスタート



スパイス投入



計量

瑠奈
ソーセージ体験は、一つ一つ丁寧に教えて下さり、作られる過程を知ることが出来ました。今回の研修会を通して「命」の大切さを改めて学びました。私達の為に食べ物になつてくれるすべての動物に感謝の気持ちを忘れず大事に食べたいと思います。将来この仕事もいいなあと思えました。

しゅんぱ
初めてのソーセージ作り体験はスタッフさんの丁寧な教え方が分りやすく、とても心に残る体験となりました。いつかこのソーセージ作りを自分の職業として考えたいなと思えました。

青崎津奈美
今回初めて研修会に参加しました。一泊二日の開催ができず残念でしたが、ソーセージ作り体験は楽しくて、初めてお会いした方とも話が出来て良かったです。またこのような研修会があれば参加したいです。

しばいぬ
ソーセージ作りでスタッフ

ゆりは
つめたかったけど、こねこねするとお肉がたのしかった。やきたてはおいしかったです。

福本海里
ソーセージ作りは肉をこねる作業が楽しかったです。

福本りん
台風で、日がえりになりましたがソーセージづくりは楽しかったです。これまで食べた中でいちばんおいしかったです。

り交歓研修会♪

台風の影響で1泊研修から日帰りの研修となりましたが、初めてのソーセージ作り体験に講師の方々の丁寧な対応とまた、農場で飼育される生き物の大切な命をいただくという事で貴重な体験となりました。

部のみなさんと交流ができて、また機会があれば参加したいです。

坂本洋子
子どもの参加は叶いませんでしたが、初めての体験に教わる事が多く他支部の方々に会えて、意見交換出来たことも励みになりました。次回の研修も楽しみにしています。

青崎裕
今回、初めての参加でした。台風接近で日帰りになりましたが、他支部の方とも交流が図れて有意義な研修会となりました。また機会があれば参加したいです。

ひろこ
台風の影響で日帰りになりましたが、鹿屋方面への旅と初めてのソーセージ作り体験を家族皆で楽しむことができました。でき上がったソーセージは焼きたて熱々で、レモンも香りとても美味しく、子ども達は新しく友達ができ嬉しそうで、参加して良かったです。



上手~キレイにできてますね〜



腸に肉をつめてゆっくりまわして



たのしいね～こねこね



こねこね・こねこね

さんがとても優しく、ブタ肉をこねたり腸につめたりして、回す作業も楽しかった。

小西莉緒

初めてのソーセージ作り体験だったので、わくわくして楽しかった。自分達でつくったソーセージ、家に帰っておいしく食べたい。バスの中のビンゴゲームも景品がたくさんあって楽しかったです。

るか

バスの中ではビンゴやゲームをしたり、ソーセージ作りはお姉さんが手伝ってくれてとても楽しかった。

春馬

ブタのちように肉をつめることが一番たのしかったです。

とじや

ソーセージ作り体験は、お肉をこねるときつめたかったです、スタッフさんのアドバイスでうまくできて、おいしくできました。アドバイスをしてくれてありがとうございます。ソーセージを作ってください。おうえんしています。

令和5年度 母と子の日帰

令和5年8月5日(土) 参加者：32人
霧島ヶ丘公園(鹿屋市)…南州農場(ソーセージ作り体験)

たのしかったです

かなと

ソーセージづくりがとても楽しかったです。

俊介

ソーセージづくりがたのしかったです。またいきたいです。

さわこ

とても楽しく体験ができて子ども達とても喜んでいました。日帰りでしたが、他支

まりあ

ソーセージ作りは初めての体験でした。県下の子ども達も参加され年令に関係なく興味のある企画でした。台風で日帰りとなりましたが、充分交流もできて、子ども達は帰路につく頃には友達になり、「また会いましょうね」との挨拶で次に会う日が楽しみになりました。

川添みや子

あゆゆ

天候判断が難しい中、日帰りで実施できて良かったですが、キャンプはできなかったのですが、美味しい体験が出来て良かったです。

M・S

天候が心配され日帰りとなりましたが、開催できて良かったです。子ども達が楽しそうにしている姿に良い研修ができて良かったです。



いただきます



おいしそう〜

能登半島地震に遭われた皆様、心よりお見舞い申し上げます。鹿児島県母子寡婦福祉連合会会員一同、一日も早い復興を祈念申し上げます。



立正佼成会鹿児島教会様より十万円、中園商事様より一万円、ちかまつ商店様より一万円ご寄付いただきました。

**寄付金
ありがとうございます
ごぞいます**

**令和五年度
全国母子寡婦福祉研修大会**

長崎大会に参加して

事務局長 前原 成行

去る十一月十八日～十九日にかけて、標記の大会が長崎県佐世保市にて開催されました。

鹿児島県からは四十三名の会員が参加され、全国各地でがんばっていらつしやる会員の取り組み事例や諫早市在住の「南高愛隣会」の理事長田島光浩氏の「医療と福祉の連携による精神障がい者の生き方を支える」取り組みの講演などをお聴きしました。また、こども家庭庁ひとり親家庭等支援室の宮崎千晶室長の行政説明などを伺いました。

全国から千名ほどの参加者があり、母子家庭等の現状を確認するとともに今後の取り組みに向けての共通理解を再確認する有意義な大会となりました。



相談事業

●**弁護士による法律相談 無料 (要予約)**

毎月1回 第3木曜日 午後2時～午後4時

養育費や親子交流、他の様々な悩みやお困りごとに対し、専門的知識から問題解決へのお手伝いをします。

●**一般相談**

月曜日から金曜日 午前8時30分～午後4時

生活や子育ての悩み・不安と一緒に考え、役立つ情報や、施策をお知らせします。来所・電話・FAX・メールにて受け付けております。

令和6年度 就業・自立支援事業

「パソコン講習会」受講者募集中

就職や転職など、自立のための支援をしています。川薩地区において下記の内容で実施予定です。

内容：MOS Excel (スタンダード)

期間：5～8月の期間

場所：株式会社フォーエバー ラーニングセンター川内

薩摩川内市西向田町6-32 サンビル5F

※テキスト費・受講料・受験料…無料

ひとり親家庭等日常生活支援事業

生活援助や、子育て支援が必要になった時、家庭生活支援員がお手伝いします。

こんな時

- 疾病・事故・冠婚葬祭
- 就職活動・残業・出張・学校行事の参加 等

支援内容

- 食事の世話・住居の清掃・身の回りの世話
- 乳幼児の保育・医療機関との連絡 等



夢を応援基金

ひとり親家庭支援奨学金制度

この奨学金は、ローソングroupと全国母子寡婦福祉団体協議会が力を合わせ、ひとり親家庭の生徒さんを応援する給付型奨学金です。

◆奨学金額 … 月額3万円 (給付型のため返還は不要)

◆対象者 … 中学3年生、高等学校1年～3年、高等専門学校1年～3年等に在籍する生徒

◆募集人数 … 全国400名 (選考により決定)

2024年度は、2月15日以降に募集受付します。

詳細につきましては全国母子寡婦福祉団体協議会のホームページにてご確認ください。

